The Y's Men's Club of Nagoya Tokai　The Service Club to The YMCA

Bulletin
2020年11月号
Vol. 54-5　2020.11.1

名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題　「ジャンプ！」

国際会長主題　「命の川を信じよう」　Jacob Kristensen（デンマーク）
アジア太平洋地域会長主題　「変化をもたらそう」　David Lua（シンガポール）
西日本区理事主題　「Let's do it now!」　吉田 裕和（京都トゥービー）
中部部長主題　「知らせよう！　ワイズの奉仕活動を」　早川 政人（名古屋グランパス）
名古屋東海クラブ標語　『限りなき熱情を奉仕に』

―――――――――――今月の聖句―――――――――――

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

（マタイによる福音書 11章28節～30節）

―――――――――――――――――――――――――――――

強調月間　Public Relations ・ Wellness

１１月例会等ご案内

◎１１月第１例会　（中部部長公式訪問あり）

日程：11月12日（木）18：45～
担当：長谷川和宏君
会場：ラ・スースＡＮＮ
開会宣言・点鐘：太田全哉会長
ワイズソング
５つの信条：橋爪良和君
食前感謝：浅野猛雄君
ー会　　食ー
卓話①『ＹＭＣＡとの出会い、
そしてＹＭＣＡに期待するもの』
講師：鈴木孝幸氏（矢場とん会長・本クラブメンバー）
卓話②『名古屋ＹＭＣＡ
ボランティアセンターとは』
講師：坂本清則氏（ボランティアセンタースタッフ）
諸連絡
閉会宣言・点鐘：太田全哉会長

◎１１月第２例会

日程：11月19日（木）
19：00～20：30
会場：名古屋ＹＭＣＡ

◎第27回チャリティーラン２０２０

日程：11月7日(土）受付9：30
スタート　10：00
終了　12：15

◎クリスマス会（１２月第１例会）

日程：12月10日（木）夕刻
会場：ラ・スースＡＮＮ
通常の例会に近い形で実施

東海ワイズ五つの信条

一．自分を愛するように隣人を愛そう
二．青少年のためにＹＭＣＡにつくそう
三．世界的視野を持って国際親善を果たそう
四．義務を果たしてこそ　権利が生じることを悟ろう
五．会合には出席第一　社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】　9月末ー在籍者20名
（内広義会員2名）
出席者　17名（Make up 2名）
出席率　94.4%

【特別ファンド】
9月ファンド　11,250円
勝手に根の上まつりより　10,000円
合計　1,317,401円

クラブ事務所　〒464-0848　名古屋市千種区春岡1丁目2-7　電話　052-757-3331　FAX　052-757-3332

太田会長が急用にて欠席となった為、山田副会長が開会宣言・点鐘を代行。７ケ月ぶりにワイズソングを歌い・５つの信条を唱和しました。

本日の講師は、クラブメンバーの中江正典君。テーマは『東海道新幹線の高速化について』

まずは中江君自身の自己紹介。岡山生まれで、大学卒業後、住友金属工業に入社され、その後会社の合併等により、日本製鉄となった現会社に勤務されている。

日本製鉄では様々の鉄製品を作っているが、その中に交通関係の物もあり、車両台車生産では、国内シェアーは 20%、在来線と私鉄に限ると 55%、なんと車輪についてはシェアー100%と聞きびっくり。

さて本題の新幹線について。新幹線に類似のものはヨーロッパに６ケ国、中国、台湾、韓国にあり、ヨーロッパの主要国の最高速度の平均は大体 300 ㎞/h、わが国では東北新幹線が 320 ㎞/h、東海道新幹線は 285 ㎞/h である。（東海道新幹線が東北新幹線より遅いのは軌道の土台が十分でないからのこと）東海道新幹線開業当時の運転本数は１時間に 10 本であったが、現在は 15 本にまで増えている。高速化に向けての節目は 1992 年にあると思われる。それまでの車体は鋼であった車体がアルミに、直流電動機から交流誘導電動機に、また従来型台車からボルスタレス台車に変わったことによる。

新幹線の高速化につて周辺環境との調和という面では、騒音と振動という課題は今も変わらない。そうした中で高速化を求めて様々の技術開発がなされている。パンタグラフの改良による騒音対策、駆動システムとブレーキシステムの改良による加速減性能の向上、フルアクティブ制振制御装置による高速走行安定と乗り心地の向上などが図られている。

東海道新幹線の更なる高速化は、リニア中央新幹線開業後になると思われるが、名古屋駅周辺は駅西側と名鉄方面を中心に今後大きく様変わりが計画されている。

東海道新幹線の開業は 56 年前の 1964 年、私が中学 2 年生の時であった。それまで東海道線の特急こだまで東京－大阪間は 6 時間 30 分を要した。それが今では 2 時間 22 分である。世の技術発達は目覚ましいものがあったが、それらの技術の集約が新幹線にあるような気がした。（松本）

【出席者】　浅野、池野、大島、神谷、柴田、鈴木孝、中江、谷口、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷲尾（15 名）

10 月特別例会・勝手に根の上まつり

10 月に予定されていた「秋の根の上まつり」がコロナウィルス禍のため春に続き中止となり、1 年間根の上に行く機会がなくなり、残念に思っていた。さらに 10 月 25 日に予定された名古屋 YMCA 南山バザーも中止となり、山村君の発案で「勝手に根の上まつり」をやりましょうと 10 月特別例会として行うことが 10 月第 1 例会で提案され、第 2 例会で承認された。

10 月 24 日（土）午後 5 時根の上の「あかまんま」に集合、参加者は浅野、池野、大島、太田、神谷、橋爪、長谷川、八木、山田、山村、そして 8 月に退会した遠藤さんと元連絡主事の秋重さんの 12 名。夕食をはさみ遅くまで盛り上がりました。

太田会長と神谷君、山村君は近くのゴルフ場で早朝からプレイしてからの参加。

＜太田会長のレポート＞

当日のスタート前には寒暖差による気嵐に近い霧に覆われ、視界ゼロの中で不安でしたが、スタートホールでは霧も晴れ、気持ちのよい秋空の中スタートできました。プレイの途中には、寒気が上空にきて、一転、冬雨となりました。秋から冬への季節の移り変わりを肌で感じました。冬雨も過ぎ去り、またまた一転、ティーグランドに 2 本の虹がかかりました。経験したことのない虹に向かってのドライバーショットが雨に濡れ疲労した心を癒してくれました。皆さんも楽しんでプレイできました。スコアは・・・・・・・

（太田会長のぶっちぎり・・・らしい？）

25 日（日）前夜の夜更かしのため年寄りの割には遅い目覚めで朝食を 8 時に摂り、キャンプ場へ。山村君の友人の 2 名に手伝って頂き、瀬戸名物の『瀬戸やきそば』やら、鯖の塩焼き、鯵の干物、焼肉、鍋などの料理をメインホールの中で（外はちょっと寒かったので）。

「根の上を愛する会」の副会長の山村君が毎月数回キャンプ場の整備に行き、ホールの中にストーブやバーベキュー窯を設置して、天候が悪くても室内でできるようにしてくれました。

山村君は他に駐車場のアプローチを新たに造り車の出入りをし易くしたり、メインロッジの裏側の整理をし、見違えるように綺麗になりました。

第２例会報告

日時：2020 年 10 月 15 日（木）19:00～20:30
場所：名古屋ＹＭＣＡ
出席：浅野、池野、大島、太田、木村、柴田、谷口、長谷川、松本、八木、山村、鷲尾
司会：太田全哉会長

議事に先立ち、広瀬スタッフよりクリスマス献金と国際協力募金について説明と協力要請があった

議事

１．11 月第１例会 11 月 12 日(木) 18:45～20:30
(会場：ラ・スースＡＮＮ)-

・担当　長谷川和宏ワイズ
・テーマ：①ＹＭＣＡとの出会い、そして
ＹＭＣＡに期待するもの（仮）
・卓話者　鈴木孝幸君（本クラブメンバー）
・テーマ：②名古屋ＹＭＣＡ
ボランティアセンターとは(仮)
・卓話者　坂本清則さん
（ボランティアセンタースタッフ）

※追加事項　翌 16 日、名古屋地区クラブ連絡会にて、11 月第 1 例会に中部部長の公式訪問が行われることになりました

２．11 月第 2 例会 11 月 19 日(木) 19:00～20:30
(会場：名古屋 YMCA)

３．12 月第 1 例会 12 月 10 日(木)
会場はラ・スース ANN　開始時間は検討中
山村喜久ワイズを中心にクリスマス例会として準備する。可能であればＹＭＣＡ職員複数名を招待する。プログラム、開催方法等今後詰めていく。

４．第 27 回チャリティーラン　11 月 7 日（土）
東海クラブから 2 チーム分 10 万円をスポンサーすることを確認。新型コロナ対応マスクをメンバー数分（20 名）クラブ会計にて購入し、2 万円の支援をすることを承認した。

５．次期中部ＥＭＣ主査人選について
現在会長の太田全哉君を推薦し、本人の了解を得た。

６.**「勝手に根の上まつり」**について確認があった。

７．その他

・クリスマスカードコンテスト協賛支出を了承。
・クリスマスキャロル、今年度は中止。
・クラブ忘年会は今後詰める.
・名古屋クラブ谷川ワイズより、福島原発の県外避難者サポート企画を 11 月 22 日(日)南山農園にて開催するにあたり、名義協賛と参加協力の要請があったことが報告され名義協賛は了承した。
・西日本区のコロナ基金より各クラブに 1 万円が還元給付される予定との報告があった。

チャリティーラン始まりの頃

1993 年チャック・ウィルソン氏が名古屋YMCAを訪れ、東京で行っている「チャリティーラン」を名古屋でもやりたいとのことであった。ワイズメンを中心としたチャックを交えた検討・計画の委員会は 1 年以上の時間を要したが、チャックの熱意が皆を動かした。『障がいのある子ども達を支援するのだから、自信をもってやろう！』彼はいつもこう言って尻込みしそうな我々を勇気づけてくれた。感謝！！

必要なものは全てスポンサーを得てということで、ゼッケンも、スタッフ用のウインドブレーカーも、運営機材も、そして賞品もスポンサーを得て用意した。また、レース運営未経験であった我々にとって、「名城公園朝の会」の加藤宏氏（前総主事加藤明宏氏の父上）の全面的なサポートと指導は本当に有難かった。加藤氏の支援無しに名古屋のチャリティーランは成立しなかったかもしれない。

初回は参加チーム61と大成功であった。以後各地のYMCAで続々とチャリティーランが行われるようになった。

頂いた支援金によって、翌年の夏には聴覚障がい児を対象とした「チャリソン・ラブキャンプ」を企画・実施できたことはスタッフとして大きな喜びであった。（松本）

【付録】
ゴルフ場に出現した綺麗な虹（提供：太田会長）